

腹膜偽粘液腫で手術を受けられた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、摘出標本と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は草津総合病院の倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けています。また、関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 腹膜偽粘液腫の遺伝子変異と臨床病理学的特徴の解析

《共同研究の機関名・研究代表者》 関西医科大学附属病院・病理診断科 講師 石田光明

《研究の目的》 腹膜偽粘液腫の遺伝子変異と再発の有無などの臨床病理学的特徴の関係を解明する

《研究期間》 研究許可日～2025年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

腹膜偽粘液腫の患者さんで、2007年1月1日から2019年12月31日の間に摘出術を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（画像検査）等

試料：手術で摘出した組織のパラフィンブロック

《外部への試料の提供について》

遺伝子解析は関西医科大学臨床病理学講座で実施しますので、匿名化処理を行い、パラフィンブロックまたは未染標本を郵送します。

《研究組織》

関西医科大学附属病院 病理診断科 石田光明

草津総合病院 消化器外科統括部長 水本明良

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

〒525-8585 滋賀県草津市矢橋町 1660 番地

草津総合病院 消化器外科統括部長 水本明良

Tel: 077-563-8866